

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

( 00060 )

事務事業名称	地域住民活動の支援	款 03	項 01	目 01	事業 007	整理番号	060
現担当課名	地域課	係名	地域係	連絡先 電話番号	3763	昨年度 整理番号	061
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成			予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和63年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名	地域課					事業評価区分	一般

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、町会・自治会、町会連合会、地区町会連合会、地域区民センター協議会	根拠 法令 等	(1)  (2)	杉並区まちの絆(きずな)向上事業助成金交付要綱  杉並区地域区民センター協議会事業に対する補助金交付要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○町会・自治会活動の支援を通して、活動の活性化及び加入促進を図り、良好な地域社会の形成に取り組む。 ○地域区民センター協議会事業の支援を通して、ふれあいと交流の創出や地域団体のネットワーク化を推進し、良好なコミュニティの形成に取り組む。	活動指標		
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	○町会・自治会の活動を支援するための各種助成等を行う。(①地域活性化のために行う事業に対する助成、②町会・自治会専用専用掲示板の設置等補助、③町会・自治会の保有する会館の建設等助成、④区屋外掲示板へのポスター掲出などの区政協力委託など) ○地域区民センター協議会の委員活動や事業を支援するための補助を行う。	指標名(1)		区政協力委託を締結した町会・自治会の割合
		指標説明		
		指標名(2)		地域区民センター協議会(7か所)の実施した事業数
		指標説明		
成果指標				
指標名(1)				町会・自治会加入率
指標説明				町会・自治会加入世帯÷区内世帯数
指標名(2)				事業一回当たりの参加者数
指標説明				地域区民センター協議会の実施した事業参加者総数÷事業実施回数

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比(%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標(1)	1	%	98.8	100.0	98.1	100.0	98.7	100.0	86.9
活動指標(2)	2	件	372	367	332	327	258	302	
成果指標(1)	3	%	46.6	55	45.9	56	44.9	58	
成果指標(2)	4	人	218	219	251	240	292	251	
事業費	5	千円	120,952	137,991	125,715	128,934	112,068	144,830	特記事項
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	
(内) 委託費	7	千円	48,828	49,868	49,204	49,672	49,506	51,095	
職員数	常勤職員数(再任用含)	8	人	13.32	13.20	13.47	12.80	13.37	13.20
	上記以外の職員	9	人	5.60	6.60	7.00	6.60	6.60	6.60
人件費	常勤職員分(再任用含)	10	千円	112,642	113,401	113,498	106,256	114,829	111,701
	上記以外の職員	11	千円	16,486	19,430	21,623	20,387	20,328	20,328
総事業費 (5+10+11)	12	千円	250,080	270,822	260,836	255,577	247,225	276,859	
単位当たりコスト (12-6)÷1)	13	円	2,531,174	2,708,220	2,658,879	2,555,770	2,504,813	2,768,590	
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0
	その他の補助金等	17	千円	2,500	2,500	2,500	2,300	2,300	2,500
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	2,500	2,500	2,500	2,300	2,300	2,500
	差引: 一般財源 (12-18)	19	千円	247,580	268,322	258,336	253,277	244,925	274,359
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 060

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	町会・自治会専用掲示板設置等補助	71	基	4,703
	町会・自治会へのまちの絆向上事業助成	16	団体	3,309
	町会・自治会への区政協力委託	157	団体	44,916
	地域区民センター協議会への補助	7	団体	46,806
	その他 (町会・自治会会館建設費補助及び区屋外掲示板維持管理費等)			12,334
事業実績	<p>町会・自治会専用掲示板の設置・修繕・移設等に対して71件(平成30年度比52件減)の補助を実施するとともに、町会・自治会加入促進及び活動の活性化を目的とした「まちの絆向上事業」を実施する16団体(平成30年度比2団体減)に助成を実施しました。また、ポスターの掲示による様々な情報提供や回覧板による周知などを目的として、157団体に区政協力委託事業を実施しました。</p> <p>更に、地域区民センター協議会が実施する地域コミュニティの形成を図る事業や、地域団体との協働事業を支援するため、7協議会に対して合計約4,680万円の補助を実施しました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見(期待・要望・苦情等)	<p>町会・自治会専用掲示板設置等補助については、平成30年度から3年間、補助割合や補助限度額の引上げを行い、老朽化した掲示板の改修をより積極的にできるように取り組んでいます。また、まちの絆向上事業助成については、平成27年度から募集回数を年1回から4回とし、町会・自治会からの拡大要望により、平成30年度から対象事業を拡大し、地区町会連合会の実施する事業も助成対象としました。</p> <p>地域区民センター協議会については、平成22年度に名称を地域集会所等運営協議会から改称するとともに、地域のネットワーク化を一層推進するため協働事業を開始しました。</p>
事業の今後(3~5年)の予測と方向性	<p>町会・自治会については、事業補助や活動の活性化に向けた講座の開講等、様々な支援に取り組んできましたが、町会・自治会が抱えている加入率の低下や役員の高齢化、後継者不足等の課題解決には至っていません。町会・自治会は、地域における防犯・防災対策、環境美化への取組、清掃事業へのご協力など、区政と大きく係っており、引き続き、町会・自治会活動の活性化に向けた支援に取り組んでいきます。</p> <p>今後、各地域区民センターは、大規模改修に合わせて順次指定管理者制度を検討していく予定であり、地域区民センター協議会の事業についても、事業の見直しを行い、協議会の設立目的である地域課題のための事業をセンター協議会事業の柱として活動できるように支援していきます。</p>
計画(目標値)に対する実績(指標の分析等)	<p>活動指標である区政協力委託契約を締結した割合は、ほとんどの町会・自治会が区政に協力的であり、ほぼ計画値に達していますが、成果指標である町会・自治会加入率については、マンション等の集合住宅の加入率が低いため、加入率は年々減少しており、計画値との差が増加しています。</p> <p>地域区民センター協議会の活動指標である事業数については、西荻地域区民センターの大規模改修やコロナ感染症の影響で事業が中止になったことなどにより、昨年と比べ大きく実績が減少となりました。一方、成果指標の参加者数は、センター協議会の事業が地域に浸透してきたことや区民が参加を希望する魅力ある事業を実施したことにより、昨年度や計画値を上回る実績となっています。</p>
評価と課題	<p>町会・自治会が抱えている加入率の低下や役員の高齢化、後継者不足等の課題に対し、これまで事業助成や活性化講座の開催等、様々な支援をしてきましたが、課題の解決には至っていません。課題解決のためには、町会・自治会活動を活性化させ、若い世代を含めた多様な世代が活動に参加できる仕組みづくりが必要であり、先進的な町会・自治会の事例等を参考にして、引き続き支援に取り組めます。また、地域区民センター協議会が実施する様々な事業の参加者は年々増加しており、センター協議会は地域住民に交流の場を提供する役割を担っています。一方で今後、地域区民センターに指定管理者制度の導入が検討されることや各センター協議会委員の欠員が生じていることなどを踏まえ、協議会運営の見直しを図っていきます。</p>

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性(見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和元年度に作成した「町会・自治会ハンドブック」を活用し、活動活性化に向けて研修会を実施するとともに、費用負担のない地域コムに掲載した杉並区町会連合会ホームページの充実を図り、より多くの区民に町会・自治会活動を周知するなど、コストを抑えた活動支援を行います。また、町会・自治会防犯カメラの設置補助については、事業開始から2年目であり、防犯カメラの設置を希望する町会・自治会もあることから、引き続き町会・自治会への支援を行います。</p> <p>地域区民センター協議会の補助金については、令和元年度から各協議会の事業計画に基づいた補助金額としていますが、引き続き事業計画に基づいた補助金の請求を行い、補助金精算時の差額の縮小を図ります。また、今後、協議会のあり方を検討する中で、指定管理者との役割分担等の整理を行い、補助金についても検討します。</p>	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 062

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	すぎなみ協働プラザ運営業務委託	1	団体	24,874
	ボランティア活動支援事業補助	1	件	3,089
	NPO活動資金助成事業	6	団体	1,143
	地域活動応援サイト（地域コム）運営	1	件	5,520
	その他（すぎなみ協働プラザ維持管理・委員報酬・事務費ほか）			8,518
事業実績	<p>すぎなみ協働プラザは新たにコーディネート機能を強化するとともに情報紙の発行や講座等の開催等、様々な手法でNPO等の活動を支援しました。NPO支援基金には、56件（平成30年度比3件増）の寄附があり合計約124万円（平成30年度比33万円増）を積み立てるとともにNPO活動資金助成として6団体に約114万円（平成30年度比75万円減）の助成金を交付しました。協働提案制度は実施方法の見直しを行い14事業の提案があり3事業を採択しました。また、地域活動団体の紹介サイトである地域コムはスマートフォンやSNSに対応できるようリニューアルしました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>平成14年に杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例を施行し、杉並区NPO支援基金、杉並区NPO等活動推進協議会、中間支援組織としてNPO・ボランティア活動推進センターを設置し、NPO支援に取り組んできました。その後、平成18年にボランティアセンターが分離するとともに、NPO支援センターは名称をすぎなみ協働プラザに変更しました。区内NPO法人数は、平成14年度の103から令和元年度には324に増加しましたが、近年はほぼ横ばいの状況です。協働プラザが実施したNPO団体や地域活動団体へのアンケートでは、協働プラザの活動が役に立っているとの回答が、93%あり、これまでの79%（29年度）、62%（30年度）の回答率を超えました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区内NPO法人数は、ここ数年330団体前後で推移してきましたが、団体の高齢化等により解散するNPOも増えており、今後は減少傾向に転じることが予想されます。NPO支援基金については、近年、寄附額が計画額に達しない状態が続いており、今後もこの状態は続くことが予測されます。NPOの減少傾向に伴い、中間支援組織であるすぎなみ協働プラザは、これまで以上に個々のNPOのニーズに即した活動支援が求められます。また、NPO支援基金の減少は、NPO支援基金を原資とするNPO活動資金助成をこれまでと同様に実施することが難しくなり、助成額の縮小も必要となってきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>活動指標である協働プラザの相談件数やイベント参加者の実績は、受託事業の見直しを行ったことや新型コロナウイルス感染症による令和2年2月以降の事業の縮小や中止も影響し、活動指標の実績はいずれも計画値を下回りました。成果指標である協働プラザの地域活動団体への貢献については、協働プラザの団体に寄り添った対応が、利用者アンケートの「活動に役に立った」との回答につながり、昨年の実績を上回りました。NPO支援基金への寄附件数については、協働プラザによるイベント事業でのPRの効果もあり、寄附件数及び寄附金額とも昨年実績を上回りましたが、計画値には達していません。</p>
評価と課題	<p>協働提案制度については、募集方法の見直しや協働プラザが事業化に向けた提案団体のサポート体制を強化したことにより、応募のあった14事業のうち3事業を協働提案事業として採択することができ、協働による地域社会づくりにつながりました。</p> <p>NPO支援基金については、基金を原資とするNPOへの活動助成額が寄附額を上回っていましたが、令和元年度は助成額を上回る寄附額を確保できました。しかし、寄附額は計画値には達しておらず、今後も普及啓発を徹底するとともに、寄附金獲得の方法を検討します。また、リニューアルした地域コムについては、SNSやチラシの投稿等新たな機能を備えていることから、団体が登録だけに終わることなく、これらの機能を積極的に活用して団体活動を活性化できるよう取り組みます。</p>

## 令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>令和元年度に採択された協働提案制度の3事業については、事業の実施期間が令和3年度までとしており、引き続き事業が継続される見込みです。令和2年度の協働提案制度については、新型コロナウイルス感染症の影響が、地域活動団体の活動にも影響を及ぼすことが予測され、提案件数の減少や事業化が困難な協働事業の提案が見込まれます。</p> <p>NPO支援基金については、寄附額の計画値を見直すとともに今後は寄附額に応じた助成額となるような方策を検討します。</p>	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

( 00063 )

事務事業名称	地域人材の育成	款 03	項 01	目 01	事業 010	整理番号	063		
現担当課名	地域課	係名	地域人材育成係			連絡先 電話番号	4016	昨年度 整理番号	064
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成				予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 04				
令和元年度 担当課名	地域課				事業評価区分	一般			

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住、在勤、在学者（地域活動に関心・意欲のある区民）	根拠 法令 等	(1)  (2)	すぎなみ地域大学運営要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○多くの区民が様々な分野で地域活動に主体的に参加し、地域活動を支え、「協働の担い手」として活躍している。	活動指標		
		指標名 (1)		実施講座数
		指標説明		
		指標名 (2)		受講者数
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○修了者の受け皿をつくる各主管課との事前協議を丁寧に行い、必要なボランティアの育成のために望ましいカリキュラムを構成する。 ○すぎなみ地域大学の講座内容について、区民の地域活動への関心度やレベルに応じて、無理なく、しかも楽しく学べるよう、工夫を凝らしていく。 ○修了生を地域活動につなげるため、講座に、体験学習や地域活動実践者との交流を組み入れていく。	指標説明		
		成果指標		
		指標名 (1)		地域活動参加者数
		指標説明		講座修了者のうちの地域活動参加者数
		指標名 (2)		地域活動参加率
		指標説明		講座修了者のうちの地域活動参加者数÷講座修了者数

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和 2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 (1)	1 講座	37	38	33	30	26	31	86.7	79.9	
活動指標 (2)	2 人	1,115	1,200	1,323	1,200	1,130	1,200	94.2		
成果指標 (1)	3 人	297	400	311	400	340	400	85.0		
成果指標 (2)	4 %	90.0	86.5	76.2	87.0	77.6	87.5	89.2		
事業費	5 千円	16,736	19,914	15,315	17,712	14,148	17,909	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	11,320	13,542	9,841	11,479	8,775	11,850			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	3.44	3.00	3.33	3.00	3.16	3.00		
	上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.04	1.00	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	29,553	25,773	28,059	25,278	27,549	26,154		
	上記以外の職員	11 千円	2,944	2,944	3,213	3,089	3,080	3,080		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	49,233	48,631	46,587	46,079	44,777	47,143			
単位当たりコスト (12-6)÷1)	13 円	1,330,622	1,279,763	1,411,727	1,535,967	1,722,192	1,520,742			
財源	受益者負担分	14 千円	710	880	756	1,110	818	980		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	1,918	2,344	1,902	2,519	1,985	1,894		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	2,628	3,224	2,658	3,629	2,803	2,874		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	46,605	45,407	43,929	42,450	41,974	44,269			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	1.4	1.8	1.6	2.4	1.8	2.1			

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 063

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	すぎなみ地域大学の講座企画、受講者募集、講座運営		26	講座
	その他 ( )			
事業実績	<p>地域活動基礎コース5講座、地域活動実践コース19講座のほか、オリパラ関連の講座やすぎなみ大人塾との共催講座等を含め合計26講座を開講するとともに、受講者以外にも地域大学の講義に参加してもらうために、実践コースの7講座で公開講座を実施しました。コロナウィルスの影響で3月開催予定の2講座が中止となるほか、予定した講座回数を実施できなくなった講座もありましたが、講座受講者数は1,130人(平成30年度比+193人)、講座修了者のうち地域活動への参加者は340人(平成30年度比+29人)、参加率77.6%(平成30年度比+1.4%)でした。</p>			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見(期待・要望・苦情等)	<p>平成18年度に12講座で開講したすぎなみ地域大学は、令和元年度では26講座の開講までに拡充し、毎年1,000人を超える受講生が、地域活動の知識や技術を学んできました。また、講座修了者の内、毎年約7割を超える受講生が地域活動に参加しています。毎年、講座の募集開始とともに講座の内容や修了後の活動に関する問い合わせも多く、区民等の地域活動への参加意欲が高いことが伺えます。また、受講生へのアンケートでは、講座内容のさらなる充実を望む声が寄せられている一方、公開講座等のアンケートでは、約5割の区民がすぎなみ地域大学の存在を知らなかったという回答をしています。</p>
事業の今後(3~5年)の予測と方向性	<p>杉並区区民意向調査では、「ボランティア活動に参加してみたい」と回答した区民は、毎年2割前後あり、区民のボランティア活動への参加欲求に応えるものとして、地域活動のきっかけづくりとなる地域大学の取組は今後も重要です。既存開講に当たっては、講座修了者の活動実績など、講座内容を精査し、開講する講座の必要性を検討します。また、主管課の事業を修了者の受け皿としている人材の育成だけでなく、役員の高齢化や後継者不足が大きな課題となっている、町会活動をはじめ地域活動団体で活躍する人材の確保も急務となっており、新たな地域人材の育成に取組む必要があります。</p>
計画(目標値)に対する実績(指標の分析等)	<p>成果指標である地域活動への参加者数及び参加率は、講座の内容を見直し、より充実した講座内容としたことや、区内各駅へのポスターの掲出、薬局や信用金庫等へのポスター掲出と募集案内の配架依頼など、広報活動に積極的に取り組んだことにより、昨年実績を上回りました。活動指標である講座数及び受講者数は、コロナウィルスの影響で、2講座が中止となるほか、予定した講座回数を実施できなくなった講座もあったため、昨年実績を下回りましたが、1講座当たりの受講者数は昨年実績よりも増加しました。</p>
評価と課題	<p>成果指標である地域活動参加者及び地域活動参加率は、昨年実績を上回っており、区民の社会参加意欲に応え、講座修了後は地域活動等を実践する場を確保している地域大学の取組は、一定の成果をあげています。一方で、地域大学の発足から14年が経ち、近年は毎年同じ講座が開講している状況であり、今日の行政課題や社会状況を踏まえた講座のテーマや内容の見直しも必要となっています。そのため既存の講座内容及び修了生の活動状況を精査し、区民との協働を必要とする事業や地域活動団体の新たに担い手となる人材育成に向けた新たな講座の開講に取組む必要があります。また、現在の広報活動では区民への周知が不足しており、新たな広報手段を検討・実施していきます。</p>

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性(見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	縮小
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>行財政改革推進計画に基づき、地域大学の運営等については見直しを行い、講座の管理運営等を委託するとともに、講座開講にあたっては、すぎなみ地域大学の役割を再認識し、講座修了者が地域大学で学んだ成果を地域活動実践者として活動できるよう主管課と調整を行いながら、講座を開講します。</p>	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 064

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	公共施設予約システム運用業務委託			
	端末回線料、機器リース料の支出			27,476
	その他 (システム維持管理消耗品の購入等)			5,398
事業実績	<p>令和元年度は利用者の支障となるシステムの障害や停止はありませんでした。                  また、各施設に設置している、さざんかねっと用の管理者用端末機、利用者用端末機 (タッチパネル) などの機器類のリース期限終了 (令和2年1月) に伴う、機器の入れ替えを実施するとともに、令和2年11月に予定されている使用料改定に対応するため、システムの設定変更を行いました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>公共施設予約システムは、平成15年から集会施設、平成17年からスポーツ施設の運用を開始しました。また、平成26年10月にシステムの更新を行いました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>○令和3年1月以降、新たな地域コミュニティ施設 (コミュニティふらっと) を段階的に開設することに伴うシステム改修を行います。                  ○現行システムのサービス終了 (令和6年8月) に伴う次期システムの検討・構築を行います。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和元年度の公共施設予約システムアクセス数 (2,446,746件) は、目標値 (2,300,000件) を超えています。主な要因としては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設利用制限等の影響により、アクセス数が増えたものと推測されます。</p>
評価と課題	<p>公共施設予約システムを平成26年度に更新してから4年程が経過し、システムの利用に関する問い合わせは少なくなっています。また、平成21年度以降、システム障害や停止することなく運用しており、今後も安定的なシステム運用に努めていきます。</p>

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>公共施設予約システムについて、利用者等の意見を踏まえながら、必要な改修を行います。</p>	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

( 00074 )

事務事業名称	地域集会施設等維持管理	款 03	項 01	目 03	事業 004	整理番号	079
現担当課名	地域課	係名	地域施設係	連絡先 電話番号	3765	昨年度 整理番号	080
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成			予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名	地域課				事業評価区分	一般	

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者及び利用団体	根拠 法令 等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○地域住民の活動拠点である地域区民センター、区民集会所、区民会館及び区民事務所会議室において、区民相互の交流や自主的な活動が行われるよう適切な施設の維持管理、運営を行う。	活動指標	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○地域区民センター、区民集会所、区民会館及び区民事務所会議室を良好な状態で利用者に供するための維持管理業務を行う。 ○区民や区民団体等を対象に、各施設内にある集會室、和室及びホール等の貸出業務を行う。	指標名 (1)	有料利用者数
		指標説明	
		指標名 (2)	施設利用回数
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	施設利用率
		指標説明	利用回数÷利用可能回数
		指標名 (2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和 2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 (1)	1 人	1,246,363	1,300,000	1,250,278	1,250,000	1,042,495	1,250,000	83.4	94.7	
活動指標 (2)	2 回	192,706	0	189,660	0	159,232	0	0.0		
成果指標 (1)	3 %	52.6	56	50.4	56	52.5	56	93.8		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	951,660	1,041,168	1,008,249	1,061,230	1,004,597	1,050,203	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	736,792	816,797	801,689	857,406	814,840	835,228			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	16.23	16.07	16.68	16.96	17.47	16.97		
	上記以外の職員	9 人	9.10	8.40	8.95	8.40	8.40	8.40		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	137,017	138,057	140,546	140,710	149,940	143,303		
	上記以外の職員	11 千円	26,790	24,730	27,647	25,948	25,872	25,872		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	1,115,467	1,203,955	1,176,442	1,227,888	1,180,409	1,219,378			
単位当たりコスト (12-6)÷1)	13 円	895	926	941	982	1,132	976			
財源	受益者負担分	14 千円	166,741	178,422	168,769	167,915	150,650	147,502		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	166,741	178,422	168,769	167,915	150,650	147,502		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	948,726	1,025,533	1,007,673	1,059,973	1,029,759	1,071,876			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	14.9	14.8	14.3	13.7	12.8	12.1			

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 079

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	地域区民センター施設維持運営業務委託	5	所	321,218
区民集会所施設維持運営業務委託	10	所	211,454	
光熱水費の支出			88,607	
区民会館施設維持管理業務委託	3	所	82,792	
その他（施設修繕・消耗品購入）			300,526	
事業実績	<p>地域区民センター、区民集会所及び区民会館を良好な状況で使用できるように、必要な維持管理を行いました。併せて、高井戸地域区民センターは、広場改修工事を実施しました。</p> <p>なお、西荻地域区民センターは、大規模改修工事のため、休館（令和元年6月から令和2年10月までを予定）しています。</p>			

## 令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>地域区民センター及び区民集会所については、平成14・15年度に運営協議会による運営から民間事業者への業務委託に変更しました。なお、高井戸地域区民センターは平成24年5月から、下高井戸区民集会所は平成29年4月から、指定管理者による運営を行っています。</p> <p>区民会館については、平成26年度に区の直営から民間事業者への業務委託に変更しました。令和2年3月から5月までは、新型コロナウイルス感染拡大により、集会施設の貸出を休止しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>西荻地域区民センターの大規模改修工事は、令和2年7月に終了し、同年10月から指定管理者による運営を開始します。更に、令和3年4月から西荻南区民集会所についても、同一事業者による一体的な管理運営を行うことで、スケールメリットを生かした効率的な運営を開始します。</p> <p>多様化する行政ニーズに対し、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、その後も、他の地域区民センターの改築や大規模改修工事等の機会を捉えて、指定管理者による運営を図ります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>有料利用者数、施設利用回数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年3月から施設が休館したこと、また、西荻地域区民センターが令和元年6月から改修工事のため休館したことから減少しています。</p>
評価と課題	<p>西荻地域区民センターの大規模改修工事を着実に実施するとともに、他の地域集会施設の適切な維持管理を行いました。一方、地域集会施設の中には、老朽化に伴い、更新時期を迎えている施設が多くあることから、効率的、効果的な更新について、令和3年度に予定している総合計画・実行計画及び区立施設再編整備計画の改定に合わせて、検討を進めていきます。</p>

## 令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>西荻地域区民センターが、令和2年10月から指定管理者制度を導入するため、建物総合管理の委託料が指定管理料に変わります。</p>	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 081

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	旧阿佐谷けやき公園プール解体工事			
	実施設計			45,772
	建設工事			532,880
	工事監理			9,856
	その他 (土地借料 )			730
事業実績	<p>阿佐谷地域区民センターの移転整備に向け、旧阿佐谷けやき公園プールの解体工事及び実施設計を完了 (令和元年10月) し、建設工事に係る請負契約を締結しました。新型コロナウイルス感染症拡大への影響を考慮して、工事説明会に代わる近隣への工事案内を戸別配付した後、建設工事に着手 (令和2年3月) しました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>近隣病院の移転・建替え計画を受けて、平成29年度に新たに杉並第一小学校等施設整備等方針を策定しました。</p> <p>令和元年度に完了した旧阿佐谷けやき公園プールの解体工事においては、振動が発生した期間についても地域住民の協力を得ることができました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>建設工事は令和3年度末の竣工予定で、複合施設の開設時期は令和4年を予定しています。</p> <p>複合施設の円滑な運営に向けて、関係課間で連携を図って指定管理者制度の導入準備を進めています。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>計画通り、令和2年3月から移転改築工事に着手しました。</p>
評価と課題	<p>関係課間で連携を図って複合施設の実施設計や開館後の運営方法等の検討を行いました。</p> <p>本格化する建設工事に関する意見や要望に速やかに対応するとともに、天候や災害により工程スケジュールへ影響が及ぶ場合は、その影響を最小限に止めるために迅速な対応を図ります。</p>

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>建設工事や主管課で行う工事、物品購入経費、現施設からの物品移設経費ほかにかかる必要な予算を計上していきます。</p>	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00761)

事務事業名称	西荻地域区民センターの改修	款 03	項 01	目 04	事業 003	整理番号	082
現担当課名	地域課	係名	地域施設係	連絡先 電話番号	3768	昨年度 整理番号	084
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成				予算事業区分	投資事業	
事業開始	平成28年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名	地域課				事業評価区分	一般	

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 施設利用者及び利用団体等	根拠法令等 (1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例、同条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○昭和59年建設で、施設の老朽化が見られる西荻地域区民センターについて、改修を行う。また、保育需要に対応するため、施設内に保育所を整備する。	活動指標 指標名 (1) 改修工事の進捗状況 指標説明 工事竣工時を100%とした場合の出来高の割合 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○大規模改修により内外装のリニューアルや必要な設備の更新を行うとともに、より使いやすい施設とするためにレイアウトの変更を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1	0	0	0	50	50	100	100.0	90.9
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円	0	36,639	25,920	366,537	333,035	575,384	特記事項 令和元年6月に着工した改修工事に伴う工事監理業務の受託者から、前払い金3,243千円について辞退があり、令和2年度に予算の繰越しを行っています。
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	
(内) 委託費	7	千円	0	36,639	25,920	365,932	332,591	546,982	
職員数	8	人	0.00	0.00	0.20	0.36	0.37	0.32	
	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費	10	千円	0	0	1,685	3,033	3,226	2,790	
	11	千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+10+11)	12	千円	0	36,639	27,605	369,570	336,261	578,174	
単位当たりコスト (12÷1)	13	円	0	0	0	7,391,400	6,725,220	5,781,740	
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	0	36,639	27,605	369,570	336,261	578,174	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 082

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	改修工事			
	地域課西荻地域活動係仮事務室への移転作業			1,491
	地域課西荻地域活動係仮事務室の整備工事			970
	地域課西荻地域活動係仮事務室の施設管理委託			878
	その他（光熱水費ほか）			511
事業実績	<p>老朽化が進む設備の更新や利便性の向上を図るために実施する西荻地域区民センターの改修工事は、令和元年6月に開始し、計画どおりに進捗しました。 改修工事期間中の地域課西荻地域活動係の仮事務室として、杉並会館地下1階の一部を改修し、移転（令和元年6月）しました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	平成30年3月に大規模改修基本計画を策定し、平成30年4月から平成31年3月まで改修設計を行いました。改修工事は、令和元年6月から着手しています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和2年7月に改修工事が完了し、開設準備を行った後、同年11月から施設の供用を再開する予定です。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	改修工事は、令和元年度に計画どおりの工事が進捗しました。
評価と課題	令和元年度は、計画どおり工事が進捗しました。引き続き、改修工事の安全確保に努めるとともに、計画どおり着実に進捗するよう努めます。また、施設利用の再開に向けて、初度備品の購入や移転準備を行います。

## 令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	令和2年7月に改修工事が完了し、本事業は終了となります。	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00776)

事務事業名称	高円寺地域区民センターの改修	款	03	項	01	目	04	事業	004	整理番号	083
現担当課名	地域課	係名	地域施設係				連絡先電話番号	3768	昨年度整理番号		
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成						予算事業区分	投資事業			
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標	05	施策	32	計画事業	02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和元年度担当課名	地域課						事業評価区分	一般			

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者及び利用団体等	根拠法令等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例、同条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○平成元年に建設され、施設の老朽化が見られる高円寺地域区民センターについて、改修を行う。	活動指標	改修工事の進捗状況
		指標名 (1)	工事竣工時を100%とした場合の出来高の割合
		指標説明	
		指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○大規模改修により内外装のリニューアルや必要な設備の更新を行うとともに、より使いやすい施設とするためにレイアウトの変更を行う。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度計画	令和元年度対計画比 (%)	令和元年度予算執行率 (%)
			計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1				0	0	0	0.0	
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円			12,000	0	31,545		特記事項 改修工事に伴う基本設計及び実施設計委託 (令和元年10月から令和3年3月まで) は、計画どおり令和元年度に30%の進捗がありました。しかし、受託者から前払い金11,350千円について辞退があり、令和2年度に予算の繰越しを行ったことから、事業費の支払は生じていません。
(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0		
(内) 委託費	7	千円			12,000	0	31,545		
職員数	8	人			0.00	0.37	0.32		
上記以外の職員	9	人			0.00	0.00	0.00		
人件費	10	千円			0	3,226	2,790		
上記以外の職員	11	千円			0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12	千円			12,000	3,226	34,335		
単位当たりコスト (12÷1)	13	円			0	0	0		
財源	受益者負担分	14	千円			0	0	0	
	国からの補助金等	15	千円			0	0	0	
	都からの補助金等	16	千円			0	0	0	
	その他の補助金等	17	千円			0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円			0	0	0	
	差引：一般財源 (12-18)	19	千円			12,000	3,226	34,335	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%			0.0	0.0	0.0		

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 083

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	基本設計			
	その他（ ）			
事業実績	施設の老朽化や利便性の向上が課題となっている高円寺地域区民センターの改修に向けて、地域団体からの意見聴取や利用者アンケートを行い、改修設計（令和元年10月から令和3年3月まで）を行いました。			

## 令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	地域住民や施設利用者からは、エレベーターの混雑や特定の利用者によるロビーの占用等について意見が寄せられています。より使いやすい施設となるよう、これらの意見も踏まえ、改修設計を行いました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和3年3月に改修設計が終了し、同年4月から工事期間は休館します。その後、同年7月から令和4年10月まで改修工事を実施し、令和5年1月に施設の供用を再開する予定です。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	令和元年8月に大規模改修基本計画を策定し、改修設計を行いました。
評価と課題	令和元年度は、計画どおり改修設計が進捗しました。引き続き、令和2年度末までに、改修設計を計画どおり完了させます。また、利用者への代替活動場所の案内などを丁寧に行っていきます。

## 令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	改修工事費を計上することに伴い事業費が増加します。	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00777)

事務事業名称	地域コミュニティ施設の整備	款 03	項 01	目 04	事業 005	整理番号	084
現担当課名	地域課	係名	地域施設係	連絡先 電話番号	3769	昨年度 整理番号	
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成			予算事業区分	投資事業		
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和元年度 担当課名	地域課					事業評価区分	一般

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者及び利用団体等	根拠法令等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立コミュニティふらっと条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○集会施設である区民集会所、区民会館、特定の年齢層を対象とした施設であるゆうゆう館、機能移転後の児童館施設を対象に、新たな地域コミュニティ施設に再編整備することで、施設の有効活用を図るとともに、誰もが身近な地域で気軽に活動でき、多世代の交流が生まれる環境を整える。	活動指標	施設数
		指標名 (1)	開設したコミュニティふらっとの数
		指標説明	
		指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○「区立施設再編整備計画」に基づき、区民集会所、区民会館、ゆうゆう館、機能移転後の児童館施設を対象に、段階的に、新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」に再編整備する。 ○コミュニティふらっとの整備は、既存施設の転用によることを基本とする。施設が老朽化している場合や、施設が存在しない地域では、他施設の改築に合わせて複合化を図るなどの方法により、新たに施設を整備する。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度 計画	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1				0	0	3	0.0	98.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円			207,775	203,712	588,940	特記事項 当該事務事業に計上されている、(仮称)永福三丁目地域コミュニティ施設の整備に係る経費については、平成30年度の「(仮称)永福三丁目複合施設整備」から移管されました。	
(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0		
(内) 委託費	7	千円			207,775	203,712	521,794		
職員数	8	人			0.00	0.75	0.64		
上記以外の職員	9	人			0.00	0.00	0.00		
人件費	10	千円			0	6,539	5,580		
上記以外の職員	11	千円			0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12	千円			207,775	210,251	594,520		
単位当たりコスト (12÷1)	13	円			0	0	198,173,333		
財源	受益者負担分	14	千円			0	0	0	
	国からの補助金等	15	千円			0	0	0	
	都からの補助金等	16	千円			0	0	0	
	その他の補助金等	17	千円			0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円			0	0	0	
	差引：一般財源 (12-18)	19	千円			207,775	210,251	594,520	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%			0.0	0.0	0.0		

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 084

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	(仮称) 永福三丁目地域コミュニティ施設の建設工事			
	旧成田西子供園舎の解体工事			8,502
	(仮称) 東原地域コミュニティ施設の改修設計			4,455
	(仮称) 成田西地域コミュニティ施設の基本設計・実施設計			4,150
	その他 (建設工事監理委託、測量調査委託等)			9,914
事業実績	<p>コミュニティふらっと永福 (仮称) 永福三丁目地域コミュニティ施設) について、令和3年度の開設に向け、令和元年6月に建設工事に着手しました。</p> <p>コミュニティふらっと東原 (仮称) 東原地域コミュニティ施設) の改修設計を完了し、令和2年度当初より改修工事を開始できるよう準備を進めました。</p> <p>(仮称) 成田西地域コミュニティ施設の基本・実施設計を進めるとともに、令和2年1月に旧成田西子供園舎解体工事に着手しました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>多世代が身近な地域で活動し、交流できる場所を提供するため、「区立施設再編整備計画」に基づき、新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」の再編整備を段階的に進めています。現計画期間 (平成31~33年度) においては、既存施設の転用により3施設、他施設の改築に合わせた複合化により3施設の整備に取り組みます。</p> <p>工事に伴う音・振動や、施設開設後の利用者の視線・音への配慮を求める要望が寄せられる一方、多世代が利用できる施設が身近に整備されることへの期待の声もいただいています。</p>		
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティふらっと阿佐谷</li> <li>○コミュニティふらっと東原</li> <li>○コミュニティふらっと馬橋</li> <li>○コミュニティふらっと永福</li> <li>○ (仮称) 成田西地域コミュニティ施設</li> <li>○ (仮称) 高円寺南地域コミュニティ施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年1月開設予定</li> <li>令和3年1月開設予定</li> <li>令和3年1月開設予定</li> <li>令和3年4月開設予定</li> <li>令和4年4月開設予定</li> <li>令和6年度開設予定</li> </ul>	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>当初の計画どおり、令和2年度中に3施設 (コミュニティふらっと阿佐谷、東原、馬橋)、令和3年度に1施設 (コミュニティふらっと永福) を開設する予定です。</p>		
評価と課題	<p>令和3年1月の3施設 (コミュニティふらっと阿佐谷、東原、馬橋)、令和3年4月の1施設 (コミュニティふらっと永福) の開設に向け、順調に準備が進行しています。</p> <p>令和4年度以降に開設予定の2施設 ( (仮称) 成田西、高円寺南地域コミュニティ施設) の整備に当たっては、当該地域における既存施設の利用状況や地域特性のほか、先に開設する4施設の運営状況も考慮に入れながら、地域の方に親しまれる施設づくりに取り組んでいきます。</p>		

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和2年度から引き続き取り組む、(仮称) 成田西地域コミュニティ施設の建築工事、旧杉並第八小学校跡地に整備する複合施設の設計にかかる費用を計上します。</p>	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00778)

事務事業名称	高円寺区民事務所の改修	款 03	項 04	目 04	事業 001	整理番号	098
現担当課名	区民課	係名	管理係	連絡先 電話番号	1102	昨年度 整理番号	
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成			予算事業区分	投資事業		
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02		
令和元年度 担当課名	区民課					事業評価区分	一般

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民事務所等来所者	根拠 法令 等	(1) (2)	杉並区組織規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○施設の老朽化が見られるセシオン杉並 (高円寺区民事務所併設) について、改修を行う。 ○休館期間中も高円寺区民事務所の業務を継続する。	活動指標	指標名 (1)	改修工事の進捗状況
		指標説明	指標名 (2)	工事竣工時を100%とした場合の出来高の割合
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○大規模改修に併せてより使いやすい施設とするためにレイアウトの変更をする。 ○休館期間中は仮移転先 (旧堀ノ内松ノ木出張所) で業務を行う。	指標説明	成果指標	
		指標説明	指標名 (1)	
		指標説明	指標名 (2)	
		指標説明		

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和元年度	令和元年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1				0	0	0	0.0	
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円			1,200	0	14,406		<b>特記事項</b> 改修工事に伴う基本設計及び実施設計委託 (令和元年10月から令和3年3月まで) は、計画どおり令和元年度に30%の進捗がありました。しかし、受託者から前払い金11,350千円について、辞退があり、令和2年度に予算の繰越を行ったことから、事業費の支払いは生じておりません。
(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0		
(内) 委託費	7	千円			1,200	0	14,019		
職員数	8	人			0.00	0.10	0.33		
上記以外の職員	9	人			0.00	0.00	0.00		
人件費	10	千円			0	872	2,877		
上記以外の職員	11	千円			0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12	千円			1,200	872	17,283		
単位当たりコスト (12÷1)	13	円			0	0	0		
財源	受益者負担分	14	千円			0	0	0	
	国からの補助金等	15	千円			0	0	0	
	都からの補助金等	16	千円			0	0	0	
	その他の補助金等	17	千円			0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円			0	0	0	
	差引：一般財源 (12-18)	19	千円			1,200	872	17,283	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%			0.0	0.0	0.0		

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 098

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	基本設計			
	その他 ( )			
事業実績	<p>令和元年度はセシオン杉並の基本設計を進めました。改修後は客だまり及び事務スペースを確保することや、地域区民センター等と休館日が異なることから、来客動線や空調等設備運転を分離できるよう調整しました。工事期間中は旧堀ノ内松ノ木会議室へ仮移転し、区民サービスを提供するための準備を進めました。また、旧堀ノ内松ノ木会議室の近隣住民の方と地区町会連合会に出向き、セシオン杉並の大規模改修に伴う仮移転について説明いたしました。</p>			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>区民の方が迷わず区民事務所へ来庁できるよう分かりやすいレイアウトと動線を工夫し、基本設計に反映しました。</p> <p>【主なスケジュール】 令和元年度 基本設計    令和2年度 実施設計    令和3・4年度 改修工事</p>
事業の今後 (3~5年)の予測と方向性	<p>令和3年度より改修工事に着工し、令和4年12月に改修工事竣工、令和5年1月からセシオン杉並の供用を再開する予定です。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>区民の方が迷わず区民事務所へ来庁できるよう分かりやすいレイアウトと動線を工夫し、基本設計を進めました。また、休館期間中の仮移転先として旧堀ノ内松ノ木会議室を確保しました。</p>
評価と課題	<p>令和3年度からの大規模改修工事に向けて、利用者のニーズを踏まえ、区民の方が迷わず区民事務所へ来庁できる動線になるようにレイアウトを工夫し、基本設計を進めました。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者が3密にならないように区民事務所の待ち合いスペースから離れてお待ちいただいているお客様もお呼びできるよう、I C Tを活用した呼び出しシステム等を検討していきます。また、休館期間中の仮移転先の案内を地域住民や利用者へ丁寧に行っていきます。</p>

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年度の予算は実施設計に基づいて改修工事の工事費等を計上するため、拡充していきます。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として十分な換気能力を確保できる設備の導入を検討します。</p>	

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00762)

事務事業名称	勤労福祉会館の改修	款 03	項 05	目 05	事業 002	整理番号	112
現担当課名	産業振興センター	係名	管理係	連絡先電話番号	4112	昨年度整理番号	110
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成			予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成30年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02		
令和元年度担当課名	産業振興センター			事業評価区分	一般		

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内中小企業在勤者、区民等	根拠法令等	(1) 杉並区立勤労福祉会館条例 (2) 区立施設再編整備計画(第一期)・第二次実施プラン
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○大規模改修により必要な保全を行うとともに、より使いやすい施設とするために機能の見直しを図る。	活動指標	改修工事の進捗状況
		指標名(1)	工事竣工時を100%とした場合の出来高の割合
		指標説明	
		指標名(2)	
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	○必要な保全を行うとともに、利用者ニーズの変化を踏まえて機能の見直しを図るため、大規模改修を行う。	指標説明	
		成果指標	
		指標名(1)	
		指標説明	
		指標名(2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和元年度	令和元年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				計画
活動指標(1)	1	%		0	0	50	50	100	100.0	85.0
活動指標(2)	2									
成果指標(1)	3									
成果指標(2)	4									
事業費	5	千円		35,906	25,402	402,790	342,501	648,081	<b>特記事項</b> 予算執行率85.0%の理由は、①役務費の契約額が見込額の20.7%であったためと、②工事監理業務委託契約及び改修舞台機構工事契約の受託事業者から前払金を辞退する旨の申し出があったためです。	
(内) 投資的経費等	6	千円		0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7	千円		35,906	25,402	402,790	342,501	588,689		
職員数	8	人		0.00	0.19	0.40	0.43	0.40		
上記以外の職員	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10	千円		0	1,601	3,370	3,749	3,487		
上記以外の職員	11	千円		0	0	0	0	0		
総事業費(5+10+11)	12	千円		35,906	27,003	406,160	346,250	651,568		
単位当たりコスト(12÷1)	13	円		0	0	8,123,200	6,925,000	6,515,680		
財源	14	千円		0	0	0	0	0		
受益者負担分	14	千円		0	0	0	0	0		
国からの補助金等	15	千円		0	0	0	0	0		
都からの補助金等	16	千円		0	0	0	0	0		
その他の補助金等	17	千円		0	0	0	0	0		
特定財源計(14+15+16+17)	18	千円		0	0	0	0	0		
差引:一般財源(12-18)	19	千円		35,906	27,003	406,160	346,250	651,568		
受益者負担比率(14÷12)	20	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 112

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	勤労福祉会館改修工事			
	その他（グランドピアノ運搬委託費、廃棄物運搬・処分委託費等）			1,012
事業実績	令和元年度に開始した大規模改修工事は、順調に進捗しています。			

## 令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	勤労福祉会館は区立施設再編整備計画に基づき、大規模改修を実施し、施設の有効活用を図っていきます。そのため、平成30年度に大規模改修に向けた設計を行い、令和元年度から改修工事を実施しています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和元年度に引き続き、令和2年度も改修工事を実施します。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	令和2年10月に、計画どおり改修工事が完了する予定です。
評価と課題	今後も、中小企業で働く勤労者の文化・教養、及び福祉の向上を図るため、適切な維持保全を行っていきます。

## 令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	2か年にわたった大規模改修は令和2年10月で完了する予定のため、当該事業は無くなります。	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 310

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	実施設計			
建設工事				0
	その他（ ）			
事業実績	阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの統合を図り、複合施設として整備するための実施設計を行いました。また、住民説明会を開催する等、地域住民の意見を聞きながら工事に着手しました。			

## 令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	当初の計画どおり実施設計を完了するとともに、建設工事に着手しました。工事に関する要望への対応は、説明会等で周知してきたところですが、引き続き丁寧な近隣住民への対応に努め、理解と協力を得ていきます。

## 令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	令和4年度の運営開始に向けて、阿佐谷児童館と阿佐谷地域区民センターとの複合施設の建設工事を進めます。	



# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00793)

事務事業名称	社会教育センターの改修	款 07	項 05	目 03	事業 003	整理番号	542	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	社会教育センター			連絡先 電話番号	4712	昨年度 整理番号
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成				予算事業区分	投資事業		
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02			
令和元年度 担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般		

## 令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	社会教育センターの利用者および利用団体等	根拠 法令 等	(1)  (2)	杉並区立施設再編整備計画
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○老朽化による施設保全を行う。 ○より効果的で効率的な施設とするための機能の見直しを図る。	活動指標	指標名 (1)	改修工事の進捗状況
		指標説明	指標名 (2)	工事竣工時100%とした場合の出来高の割合
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○併設する高円寺地域区民センターとともに、諸室の精査と機能の見直しを行い、施設を整備する。	指標説明	成果指標	
			指標名 (1)	
			指標説明	
			指標名 (2)	
			指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和元年度 対計画比 (%)	令和元年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1	%			0	0	0	0.0	
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円			10,800	0	23,891		<b>特記事項</b> ○債務負担設定額は36,068,000円、設定期間は令和元年度～2年度です。 ○事業者から前払金の辞退があり、支払いは令和2年度になりました。
(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0		
(内) 委託費	7	千円			10,800	0	23,891		
職員数	8	人			0.30	0.40	0.50		
上記以外の職員	9	人			0.00	0.00	0.00		
人件費	10	千円			2,528	3,487	4,359		
上記以外の職員	11	千円			0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12	千円			13,328	3,487	28,250		
単位当たりコスト (12÷1)	13	円			0	0	0		
財源	14	千円			0	0	0		
受益者負担分	15	千円			0	0	0		
国からの補助金等	16	千円			0	0	0		
都からの補助金等	17	千円			0	0	0		
その他の補助金等	18	千円			0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	19	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	20	千円			13,328	3,487	28,250		
受益者負担比率 (14÷12)	20	%			0.0	0.0	0.0		

# 令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 542

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	基本設計			
	その他 ( )			
事業実績	社会教育関係団体等の意見を聞きながら、改修設計を行いました。			

## 令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	社会教育センターは平成元年6月に開館し、老朽化が進んでいることから、「区立施設再編整備計画 (第一期)・第二次実施プラン (平成31~33年度)」に基づき、併設する高円寺地域区民センターと合わせて大規模改修を行います。 利用者からの要望には、ホール座席の改修やトイレの段差解消などがあります。
事業の今後 (3~5年)の予測と方向性	令和4年度開設に向けて、令和3年度から建設工事に着手します。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	関係各課と調整を図り、基本設計に着手しました。
評価と課題	関係各課で連携し、基本設計を行いました。引き続き、ホールを有する複合施設の設計・工事・開設準備等を進めていきます。

## 令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	改修工事費 (1年目)、事務室仮移転費、美術品や再利用物品の輸送・保管等に係る経費を計上していきます。	